

佛教文學

第十九号

佛教文學

第十九号

平成七年三月

佛教文學

- わが国初期僧伝の影琢
—大安寺における漢文伝述作と『梁高僧伝』— 藏 中 しのぶ
円仁筆『入唐求法巡礼行記』と『江談抄』の
吉備入唐譚
—生成される「讖緯」の言説・日本篇— 深 泽 徹
冥界における白河上皇をめぐる問題
—『宝物集』の記事を発端として— 田 中 德 定
「三身和歌」攷 千 古 利恵子
貞慶・澄憲の周辺
—「笠置上人草」「解脱上人之作」と題した
「表白集」類について 牧 佐 藤 野 和 夫
『真言伝』における往生ということ 佐 藤 野 和 夫
『法華懶法私』所収の説話
—『注好撰』の引用を中心にして— 高 橋 伸 幸
大谷大学蔵『仮名書き絵入り往生要集』版本 西 田 直 樹
『繪入 往生要集』の研究 西 田 直 樹
兼 報
佛教文学会会則・役員名簿
佛教文学学会会員名簿(補訂分)
事務局だより